

# ディーアイシージャパン創業30周年記念特集

(全国ネットワークを構築)



- 《ディーアイシージャパン株式会社の沿革》
- 1992年9月 ■ディーアイシージャパン創業
  - 1993年9月 ■自動車整備「ちからもち」システム開発
  - 1997年9月 ■ディーアイシージャパン株式会社法人化
  - 1998年9月 ■業務実務に特化した「二等書記官」システム開発を行いリリース体制を整える
  - 1998年4月 ■長野支店長野市に開設
  - 1999年7月 ■東北支店仙台市に開設
  - 1999年10月 ■北海道支店札幌市に開設
  - 1999年10月 ■九州支店福岡市に開設
  - 2000年10月 ■岡山支店岡山市に開設
  - 2000年6月 ■MVCa一度システムリリース
  - 2001年6月 ■東北支店仙台市に開設
  - 2001年6月 ■MVCa一度システムリリース
  - 2001年6月 ■岡山支店岡山市に開設
  - 2001年6月 ■MVCa一度システムリリース
  - 2003年10月 ■三菱ファイブASTシステムリリース
  - 2005年3月 ■長野支店新井須坂市に竣工
  - 2005年3月 ■東京支店を日本橋に開設
  - 2005年5月 ■ISMS、VREB2.0認証取得
  - 2006年9月 ■開発・販売・サポートに特化した「二等書記官」運用開始
  - 2006年9月 ■営業活動支援システムリリース
  - 2007年6月 ■WEB対応システムリリース
  - 2007年6月 ■車検ポータルサイト「MVCa」開設
  - 2007年11月 ■NBO(独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構)共同研究開始
  - 2008年10月 ■ディーアイシージャパン須坂工場研究所竣工
  - 2008年12月 ■ディーアイシージャパン須坂工場研究所竣工
  - 2009年2月 ■ディーアイシージャパン須坂工場研究所竣工
  - 2009年2月 ■ディーアイシージャパン須坂工場研究所竣工
  - 2009年2月 ■ディーアイシージャパン須坂工場研究所竣工
  - 2010年3月 ■CO2削減量の見える「GreenBiz Car」システムの開発
  - 2010年3月 ■本社と長野・北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州各支社に営業所を含め全国に拠点を拡大
  - 2011年3月 ■「GreenBiz」システムリリース
  - 2011年3月 ■CO2削減量の見える化を実現する「CO2管制官」「GreenBiz Card」リリース
  - 2011年6月 ■須坂工場研究所において、グリーンリース株式会社と共に、次代の自動車社会へ向けた新しい整備工場の研究開発開始
  - 2012年8月 ■タフレット対応システムリリース



長野県上水内郡信濃町に本社を構える

### 自動車業界の力強い支えに

創業30周年に際し一言お祝いを申し上げます。日本の自動車社会の発展と変化の中で努力をして来られた貴社が、ここに創業30周年を迎えられたことは、貴社の自動車業界に対する旺盛なサービス精神と広範かつ深く掘り下げる研究開発姿勢で開発された商品のすばらしさの賜であると存じます。今後、更に発展していくであろう自動車社会に相応しいシステムを世に放って頂き、自動車業界の力強い支えになるよう一層のご尽力を期待する次第です。貴社益々のご発展を祈念し祝辞とさせていただきます。

祝辞  
菅平トヨタ整備・井堀雅秀代表取締役



### 社長インタビュー

#### ディーアイシージャパン株式会社 小坂 誠社長



「お客様と同じ感性で製品を開発するための研究所として現場を持つシステム開発を行っている。現場の目線で製品開発」

御社の強さについて  
「お客様と同じ感性で製品を開発するための研究所として現場を持つシステム開発を行っている。現場の目線で製品開発」

現場の目線で製品開発  
「お客様と同じ感性で製品を開発するための研究所として現場を持つシステム開発を行っている。現場の目線で製品開発」

「自動車社会をITで支える」ことをコンセプトに、自動車整備システム「新一等書記官」シリーズを展開するディーアイシージャパン(小坂誠社長、長野県信濃町)は、ユーザー工場の要望に合わせたシステムの迅速なカスタマイズ対応と、自動車関連法令や税制の改正へのタイムリーな対応力、地域特性に合わせた細かいサービスの提供を持ち味に、着実にユーザー工場を増やしてきた。ユーザー管理・車両管理における成熟したフロント業務機能に加え、時代のニーズを先読みした幅広いオプションシステムを展開する。また、自動車業界を支援する企業として、「新一等書記官」シリーズをベースに、「CO<sub>2</sub>削減量見える化」を目的とする環境保全システム「GreenBiz」を整備業界に広く提案してきた。創業30周年を迎えた同社の強みと今後の方向性を探る。



自動車社会をITで支え、カービジネスの未来に貢献してまいります。



### 開発者インタビュー

高相直也開発部長  
伊藤浩司開発部長

### ユーザーとの情報交換を重視 使いやすい業務フロー作りを

伊藤 浩司 開発部長  
高相 直也 開発部長

「ユーザーの要望に合わせたシステムの迅速なカスタマイズ対応と、自動車関連法令や税制の改正へのタイムリーな対応力、地域特性に合わせた細かいサービスの提供を持ち味に、着実にユーザー工場を増やしてきた。ユーザー管理・車両管理における成熟したフロント業務機能に加え、時代のニーズを先読みした幅広いオプションシステムを展開する。また、自動車業界を支援する企業として、「新一等書記官」シリーズをベースに、「CO<sub>2</sub>削減量見える化」を目的とする環境保全システム「GreenBiz」を整備業界に広く提案してきた。創業30周年を迎えた同社の強みと今後の方向性を探る。」

### 現場の目線で製品開発

「お客様と同じ感性で製品を開発するための研究所として現場を持つシステム開発を行っている。現場の目線で製品開発」

現場の目線で製品開発  
「お客様と同じ感性で製品を開発するための研究所として現場を持つシステム開発を行っている。現場の目線で製品開発」

### 西南自動車工業

安河内 一郎代表取締役社長

「ディーアイシージャパンの営業タッグの熱心さを決め手に、新一等書記官を導入し、パソコンに輸入替えした。同社販売の「新一等書記官」パッケージソフトであるものの、製品と現場との相違が大きい。従来自社で使っていたシステムを合わせたシステムを開発して、現場での活用が容易になった。同社では、現場での活用が容易になった。同社では、現場での活用が容易になった。」

### 坂井モーター

坂井光蔵代表取締役社長

「車検のコバック」店を6店舗展開する坂井モーター(坂井光蔵社長、静岡県浜松市)は、全店のサービスフロアに複数台パソコンを設置し、「新一等書記官」を介して顧客と対応できるフロント業務を行う体制を整えている。これを可能にするのが、ディーアイシージャパンが独自に展開する整備ソフトの月極めレンタル制度だ。ソフトの使用期間を数年間固定され途中解約が難しい一般的なリース制度と異なり、レンタル制度は、パソコンを始めとする車両の整備履歴などのデータ抽出が簡単になった。業務効率向上に顧客満足向上につながる。ディーアイシージャパンは法律改正に際してシステム面でも対応が早い。顧客対応が早い。顧客対応が早い。」

### ユーザー工場紹介

#### JAオート長野

小泉秀則代表取締役社長

「導入したのは10年前だが、事業統合した各人はシステム未統一で、システム統合の必要性が従来以上に高まった。システム統合に踏み切った。この点、ディーアイシージャパンはシステム統合を進める過程で、顧客管理の必要性が従来以上に高まった。システム統合に踏み切った。この点、ディーアイシージャパンはシステム統合を進める過程で、顧客管理の必要性が従来以上に高まった。」